

寝屋川流域総合治水対策事業

地盤が低く、水が流れにくい寝屋川流域。
街を水害から守るため、総合治水対策を行っています。

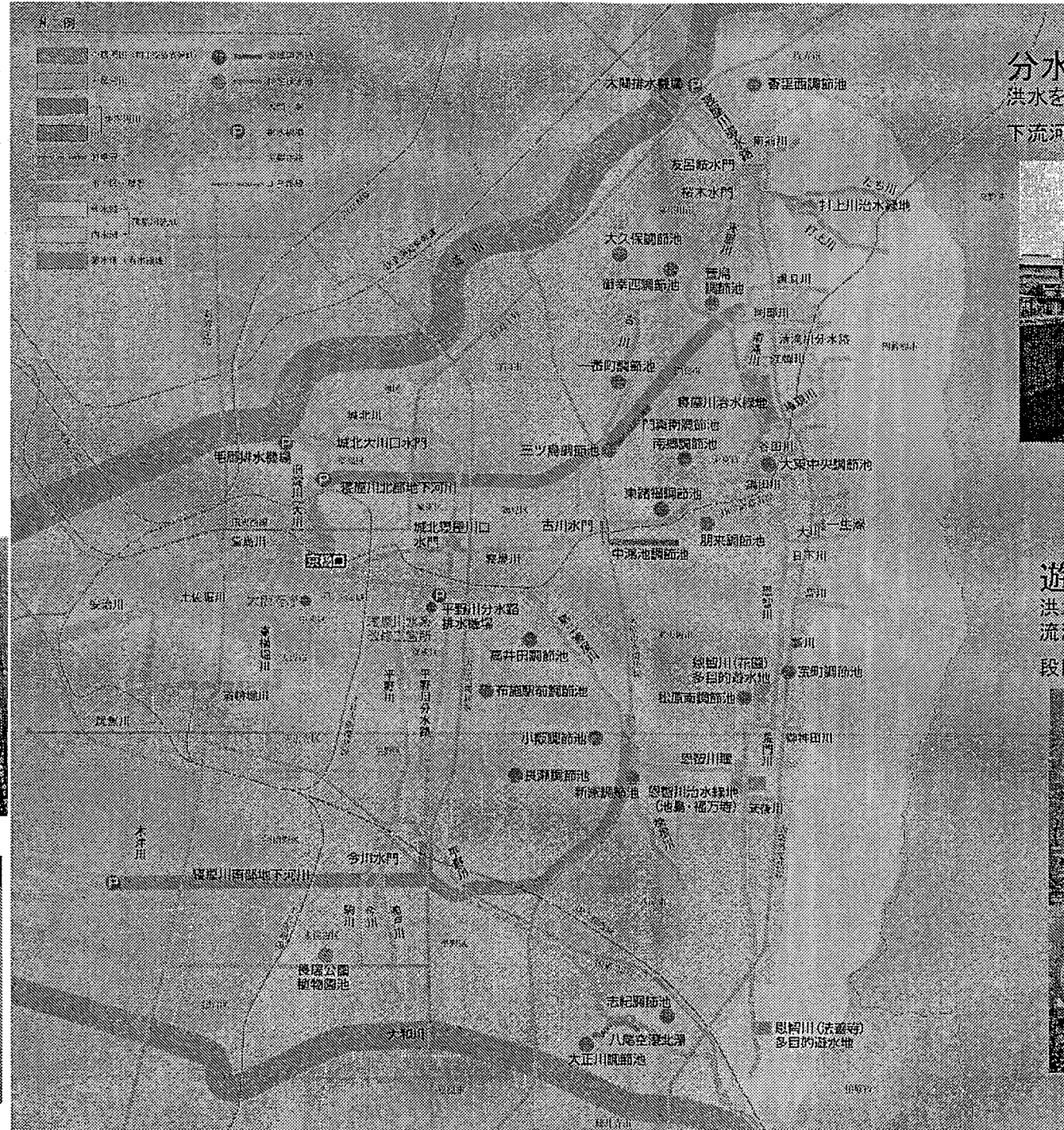
● 浸水被害実績

● 資産の集積する流域



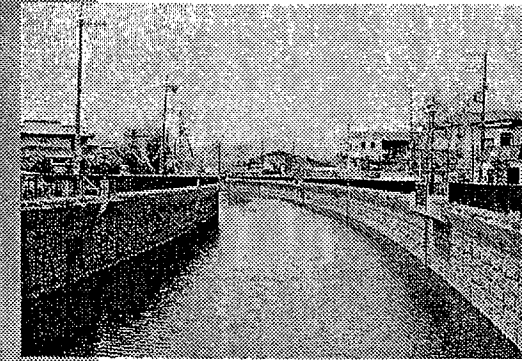
寝屋川の京橋口(大川合流点)から望む寝屋川流域

● 寝屋川流域図



分水路

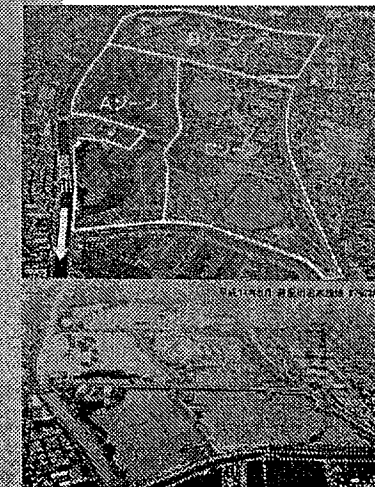
洪水を流域外の大河川(淀川)へ分水・放流し、
下流河川の負担を軽減する新しい河川です。



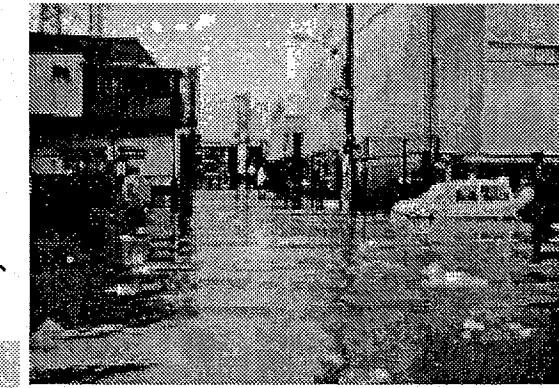
寝屋川導水路

遊水地

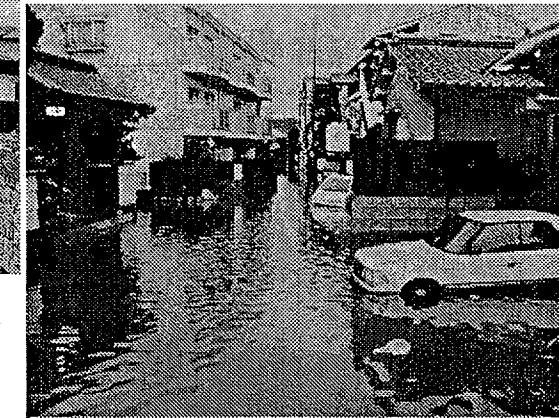
洪水を計画的に一時貯留し、下流河川の負担を軽減します。普段は公園として利用できます。



寝屋川治水緑地



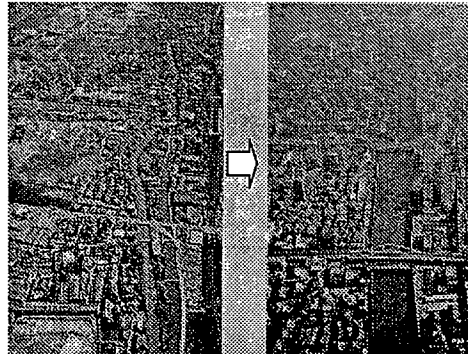
平成7年7月 東大阪市善根寺



平成9年8月 寝屋川市春日町

河道改修

川から洪水が溢れないよう、河道の拡幅、堤防嵩上げ、河床掘り下げ、橋梁改築を行います。



住道駅前での河川改修

流域調節池

公園や駐車場などの地下に設置し、水路や下水道から溢れそうになった水を一時貯留します。



三ツ島調節池

地下河川

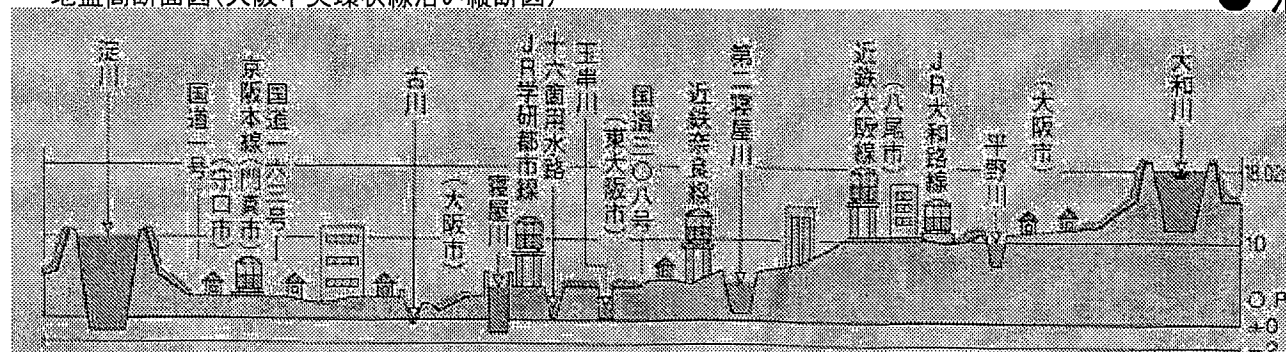
道路などの公共施設の地下空間を利用し、新たな放流施設である地下河川を建設しています。



寝屋川北部地下河川(古川調節池)

● 水害の危険性を内包する都市(流域のほとんどが低地帯)

地盤高断面図(大阪中央環状線沿い縦断面)



● 治水計画と進捗状況

	全体計画	整備計画	現況治水能力 (H.15.3末)
流域基本高水	2,700 m ³ /s	2,100 m ³ /s	1,630 m ³ /s (60%)
治水施設	河道	850 m ³ /s	760 m ³ /s (89%)
	分水路	390 m ³ /s	249 m ³ /s (64%)
	遊水地	410 m ³ /s	295 m ³ /s (72%)
	地下河川	530 m ³ /s	208 m ³ /s (39%)
	流域調節池等	220 m ³ /s	148 m ³ /s (21%)
流域対応施設	300 m ³ /s	— m ³ /s	72 m ³ /s (24%)

年 月 日	気象要因	流域最大降雨量		浸水被害		
		時間最大 (mm)	総雨量 (mm)	床上 (戸)	床下 (戸)	計 (戸)
昭和47年 7月12日~13日	梅雨前線	200	237.5	6,138	37,274	43,411
昭和47年 8月15日~16日	台風20号	47.5	116.0	8,902	52,505	61,407
昭和54年 6月27日~7月2日	梅雨前線	25.0	268.5	1,044	12,043	13,087
昭和54年 9月30日~10月1日	台風16号	66.0	96.0	4,045	23,691	27,736
昭和57年 8月2日~3日	台風10号 及び低気圧	39.5	150.5	6,778	49,282	50,040
平成元年 9月2日~3日	秋雨前線	23.0	168.0	26	1,927	1,953
平成元年 9月14日	秋雨前線	49.0	75.5	69	3,600	3,668
平成元年 9月19日~20日	台風22号	41.0	104.0	3	1,694	1,697
平成7年 7月2日~6日	梅雨前線	52.0	290.0	14	2,020	2,040
平成9年 7月5日	梅雨前線	35.0	74.0	9	163	172
平成9年 7月13日	梅雨前線	42.0	114.0	61	3,767	3,828
平成9年 8月5日	低気圧	61.0	75.0	67	3,195	3,202
平成9年 8月7日	前線	80.0	116.0	359	8,854	9,213
平成11年 6月26日~27日	梅雨前線	56.0	94.0	3	396	401
平成11年 6月29日~30日	梅雨前線	42.0	130.0	2	195	197
平成14年 8月10日~11日	熱帯低気圧	56.0	244.0	364	3,116	3,480
平成11年 9月17日	局地的豪雨	88.0	106.0	85	3,872	3,957